

小4 国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 46.3%

ねらい：にた形の漢字に気をつけて、正しい読み書きができるかを問う。

分析と対策：同じ読みの漢字とまちがえないようにすることや、にた形の漢字とまちがえないようにすることを意識して書きましょう。

2 熟語の読み方 35.0%

ねらい：漢字の音読みと訓読みの基本的な知識を問う。

分析と対策：「囿(ズ)」「本(ホン)」は、一字でも意味がわかりますが、訓読みではなく音読みです。音読み、訓読みを意識しながら読みを覚えましょう。

3 漢字の部首 68.3%

ねらい：漢字の部首の基本的知識を問う。

分析と対策：形のにている部首に注意しましょう。また、「関」と「聞」のように、同じ部分を持っていても、部首のちがう漢字に注意しましょう。

4 物語の読みとり 54.4%

ねらい：場面をとらえ、登場人物の言動から心情や心情の理由をとらえる。

分析と対策：安東みきえの「チョウチョの電車」からの出題です。四年生の奈々は、もうすぐ妹が生まれるため、新しい家に引っ越しました。本文は、前の学校の友だちである理子とユキに会った帰りに、電車を待つ場面から始まります。奈々は、ホームで三びきでなかよく飛んでいたチョウのうち一びきが電車にまよいこんできたのを見ま

す。チョウのたくさんいそうな菜の花のある駅で必死にチョウをにがそうとする奈々は、一人ぼっちのチョウに、自分を重ね合わせています。さびしさを感じていた奈々が、同学年の女の子や周りの乗客と協力してチョウをにがすことを通して、あたたかい気持ちになっていることを読み取りましょう。(2)(3)(4)は奈々の心情に関係した問題です。(8)では本文のえがき方を問われています。友だちとはぐれたチョウと、転校で友だちと離れ離れになった奈々を重ね合わせるようにえがかれていることに注意しましょう。

5 説明文の読みとり 22.9%

ねらい：説明文の内容をよく読み、筆者の考えを的確につかむ。

分析と対策：板倉聖宣「白菜のなぞ」からの出題です。本文では、生き物の名称について述べています。まず、見かけで名前をつけられ、生物学的な分類とは名前が合っていないシロアリやカナヘビ、砂糖大根を紹介しています。また、逆に、桜島大根、二十日大根のように、見かけ(=多くの人びとの直観)とはちがっても専門家が科学的に見て正しい名称をつけた場合も少なくないことを述べています。一つ一つの例を丁寧に読み取りましょう。(1)(3)(4)は理由を読み取る問題です。「なぜなら」「～から」などのことばに注目しましょう。(2)は接続語の問題です。前後の文脈に注意します。(7)は内容一致の問題です。本文と選択肢を照らし合わせて解くことが重要です。

全体の平均点は43.5点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。